

令和7年度指定管理者評価委員会 評価結果

浜名港プレジャーボート係留施設について、指定管理者評価委員会を開催し、年間評価を行った。

1 概要

対象施設 浜名港プレジャーボート係留施設

評価期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日（実績見込みを含む）

評価日 令和8年2月12日

評価委員（◎：会長）

氏 名	役職等
大石 まゆみ	浜松土木事務所 次長
門 春彦	(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会 救助事業部長
◎高瀬 進	静岡県漁業協同組合連合会 専務理事

2 評価結果

(1) 評定

項 目	評価素点 (平均)	傾斜配点	配点
施設の設置目的の達成	4.3	4	17
サービスの向上	4.3	4	17
適正な管理運営	4.7	4	19
協働体制の推進	4.3	4	17
P D C Aサイクルの適正な運用	4.3	4	17
配点合計			87

評価		配点合計
優	大いに評価できる	87/100 点満点

<参考>

年度	評価		配点合計 (100 点満点)
令和2年度	良	評価できる	72 点
令和3年度	良	評価できる	76 点
令和4年度	良	評価できる	83 点
令和5年度	良	評価できる	84 点
令和6年度	良	評価できる	82 点

(2) 委員意見（抜粋）

- ・利用率は漸減している状況であるが、これは指定管理者が利用者募集等に力を入れてくれているうえでの結果であるので、時代背景を考えれば大幅に減少していないことが評価に値する。放置艇があふれていた時代からすれば、放置艇の解消という点においては十分に達成されている。漁業関係者ともトラブル無く運営してくれている点も評価できる。
- ・料金が安いという声もあるようだが、施設の形態を考慮すると相応だと思う。
- ・SNS の効果的な活用も今後の伸びしろとして余地がある。

<参考>評価基準

委員は計画に対する実績を評価項目毎 5 段階で評価します。

評価項目毎の委員の評価点の平均を評価委員会の評価点（小数第 2 位四捨五入）とし、傾斜配点（初回評価時は 5、2 回目以降は 4）を乗じて配点（小数第 1 位四捨五入）とします。

配点の合計に応じて、4 段階で総合評価します。

5 段階の評価点、評価項目及び 4 段階の総合評価は下表のとおりです。

< 5 段階の評価点 >

評価点	評 価
5	事業計画を大いに上回る成果を挙げている
4	事業計画を上回る成果を挙げている
3	事業計画を達成している
2	概ね事業計画を達成している
1	事業計画が達成されていない

< 評価項目 >

評価項目	項目の内容
施設の設置目的の達成	・ 管理運営の基本方針 ・ 利用隻数（利用率） ・ 利用料金収入
サービスの向上	・ 新たなサービス又は既存サービスの向上 ・ 苦情処理の体制
適正な管理運営	・ 施設の保守点検、清掃及び修繕 ・ 安全対策、事故発生時の対応 ・ 非常、緊急時の危機管理体制 ・ 職員の配置計画 ・ 経費削減の方策 ・ 個人情報保護対策
協働体制の推進	・ 地元との調整、連携 ・ 水域関係者との調整、連携
PDCA サイクルの効果的な運用※	・ 前回評価時の改善事項に対する改善状況

※初回評価時は評価項目から除外。

＜ 4 段階の総合評価＞

区 分	配点合計	総合評価
優	85 点以上	大いに評価できる
良	70 点以上 85 点未満	評価できる
可	50 点以上 70 点未満	普通
要改善	50 点未満	改善を要する